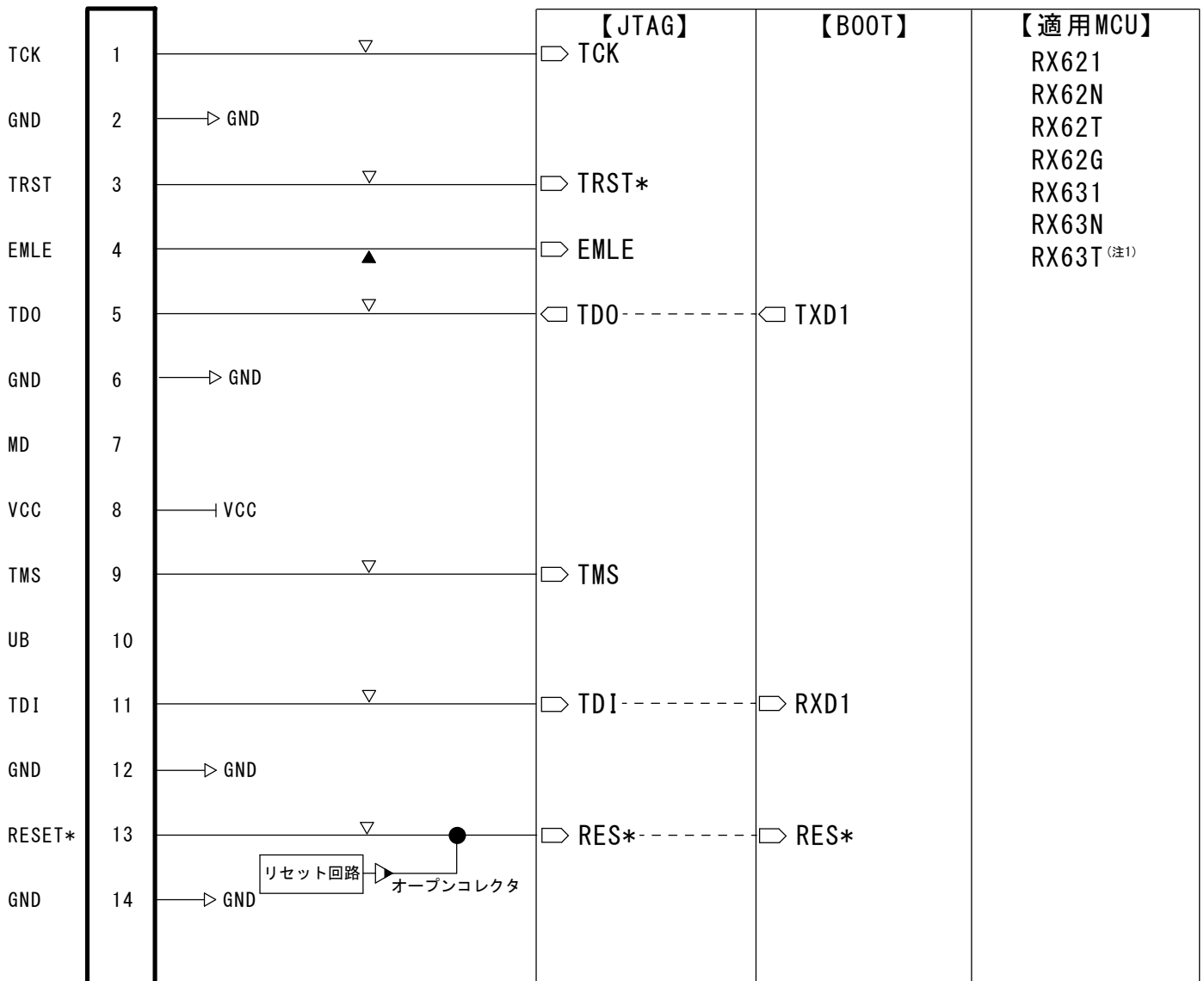


【接続例30】RX600シリーズの場合（JTAG/BOOT接続）

AH8000接続コネクタ ユーザシステム



- ▽印はプルアップ抵抗です。▲印はプルダウン抵抗です。抵抗値は4.7K~22Kの範囲を推奨します。
 - リセット回路の遅延時間は200msec以下になるようにハード設計をしてください。
 - BOOT接続はプロテクトIDコードの設定ミス等により不明となりJTAG接続が不可能になった場合の解決策として、フラッシュROMを全消去する時に使用します。
- (注1) BOOT接続で112pin品種のTDI/TDOは、RxD1/TxD1と違うピン配置になっています。